

倍と割合 その1 倍と割合・応用(分数のかけ算)

P 2 8 3 たけしさんたちがソフトボール投げをしたら、平均は30mでした。(教科書の問題)

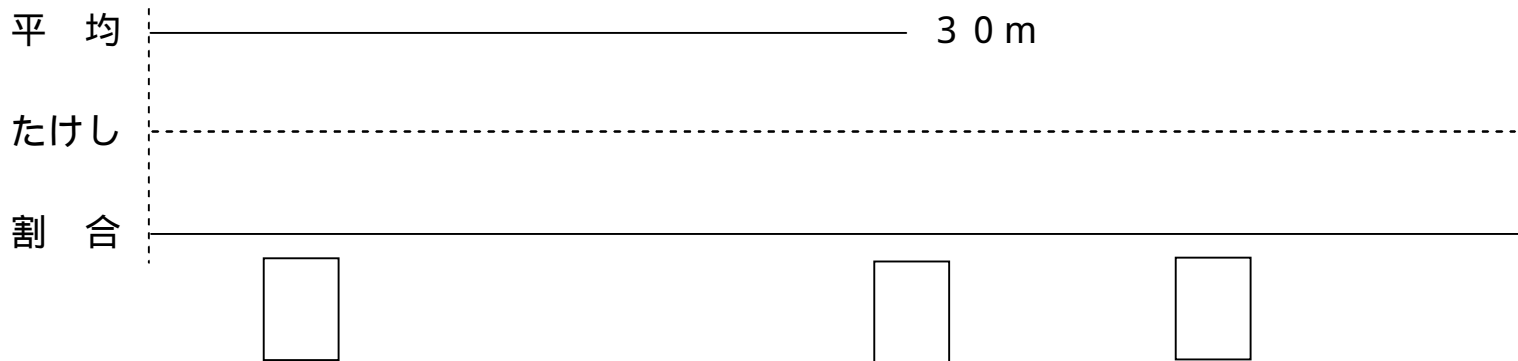
たけしさんの記録は平均の $\frac{7}{5}$ 倍に当たります。たけしさんは、何m投げたでしょうか。

〔考え方〕 もとにする量にアンダーラインをひきましょう。(平均30mがもとにする量)

たけしさんの記録は、平均より大きいでしょうか。小さいでしょうか。(分数の表現でも1との大小を見極めさせる)

数直線を書いて、求めてみましょう。(30mを1にしたとき、数直線を何等分に目盛る必要があるかを考えさせたい。5等分)

計算で求めてみましょう。(5等分してできた、単位分数当たりの量の7倍が説明できれば、理解できている。)



教科書の表の表現も難しい、十分な説明が必要。

きょり	30 m	6 m	?
割合	$1 = \frac{5}{5}$	$\frac{1}{5}$	$\frac{7}{5}$

単位分数

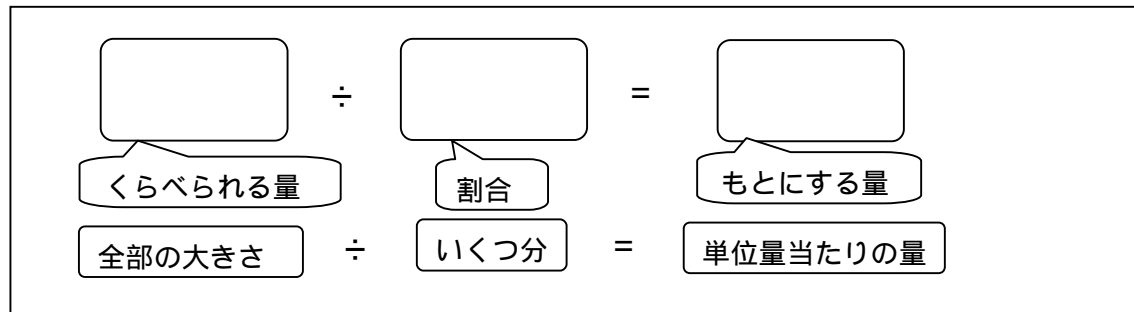
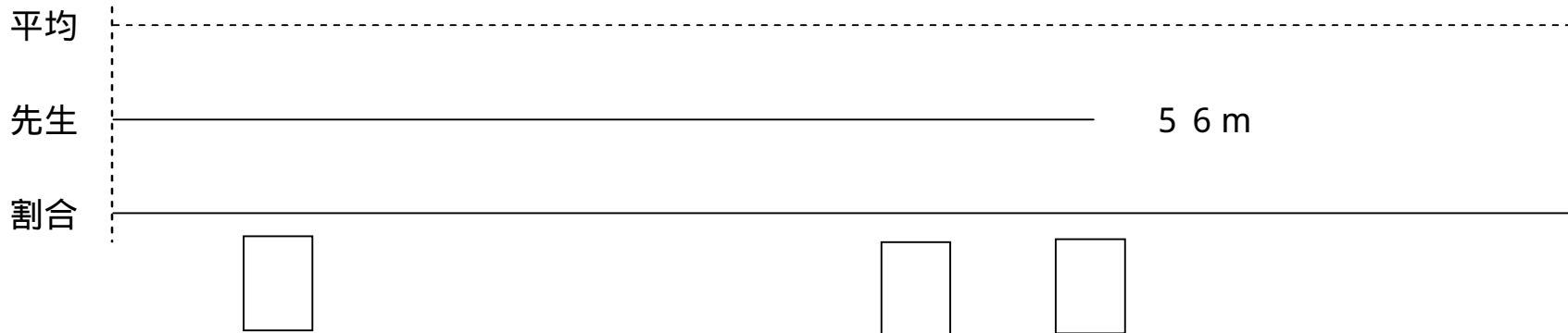
<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div>	$\times$	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div>	$=$	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div>	
<small>もとにする量</small>		<small>割合</small>		<small>くらべられる量</small>	
<small>単位量当たりの量</small>	$\times$	<small>いくつ分</small>	$=$	<small>全部の大きさ</small>	

倍と割合 その2 倍と割合・応用(分数のわり算)

P 2 8 4 先生は、ソフトボール投げで、56 m投げました。これは、先生たちの平均の $\frac{7}{6}$ 倍に当たります。

このときの平均は、何mだったでしょうか。(教科書の問題)

〔考え方〕 もとにする量にアンダーラインをひきましょう。(平均がもとにする量、ただし、数量としては表わされていません。)  
 先生の記録は、平均より大きいでしょうか。小さいでしょうか。(分数の表現でも1との大小を見極めさせる)  
 数直線を書いて、求めてみましょう。(先生の56 mの数直線を何等分に目盛る必要があるかを考えさせたい。7等分)  
 計算で求めてみましょう。(7等分してできた、単位分数当たりの量の6倍が説明できれば、理解できている。)  
 (わり算が逆数のかけ算になる学習が十分でないという意味付けの説明は相当難しい。)



教科書の表の表現も難しい、十分な説明が必要。

きより	?	8 m	56 m
割合	$1 = \frac{6}{6}$	$\frac{1}{6}$	$\frac{7}{6}$

単位分数

わり算の意味と分数のわり算が逆数のかけ算になる意味の両方が問われるので、事前の学習が十分でないと言明できるまでの理解は相当難しい。